

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-010

PDCA	事務事業名	感染症予防事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 健康担当	担当	杉本	
					内線等	84-0646	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節：第3節 健康増進と医療体制の充実 基本施策：1. 健康づくり 単位施策：(3) 疾病予防・感染症に対する取り組み 個別施策：②感染症予防・対策の推進					
	根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
	対象・目的	15歳以上の市民を対象に胸部レントゲン撮影を行い、結核検査を実施する。 これは、結核の蔓延予防を目的とする。 39歳以下の市民には、尿検査・血圧・血液検査などの健康診査を追加で実施する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市医師会に委託し、各地区公民館等公共施設で15歳以上の人を対象に胸部X線検査等を実施。啓発については、市報、回覧板、ホームページ等を実施記事を掲載する。 また、35歳から39歳の国民健康保険加入者に対して個別受診勧奨を行い、結核定期健診（住民健康診断）の受診を促す。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①定期健康診断の実施回数	16	16	16	回	
		②受診者数	3,110	2,811	2,549	人	
		③					
		事業費	7,250	6,557	6,224	千円	
		人件費	3,426	2,498	3,726	千円	
		総事業費	10,676	9,055	9,950	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		①健診1人あたりのコスト	3.43	3.22	3.91	千円	
		②					
	③						
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①65歳以上国保加入者受診率	実績値	9.62	8.79	7.19	%
			目標値	—	—	9.50	
②39歳以下国保加入者受診率		実績値	4.38	4.53	4.26	%	
		目標値	—	—	4.65		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C 35歳～38歳の国民健康保険加入者及び39歳市民（2,197人）に個別勧奨を実施した結果、156人の新規受診があった。 受診者数が毎年低下傾向にある。特に若年層で他の受診機会がない方の健診の受け皿として十分機能するよう、より効果的なPRや実施時期、実施場所の再検討等、工夫の余地がある。					
A 課題解決のための	今後の事業の方向性	改善推進 がん検診との統合を検討していたが、他に受診機会のない方、特に若年層の健診の受け皿となっているため、若年層対象の部分はこれまで通り実施する。より効果的なPRや実施時期、実施場所の再検討をすることで、若年層の受診者数増を目指す。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①65歳以上国保加入者受診率	9.50	%			
		②39歳以下国保加入者受診率	4.65	%			